

Serial No. 09/873,275
ATTY DOCK - 1907-198P
BSK6 (703) 105-8000



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 8月28日

出願番号
Application Number:

特願2000-256812

願人
Applicant(s):

シャープ株式会社

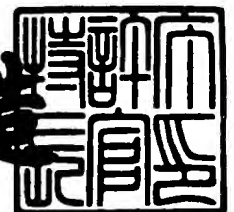
RECEIVED
JUL 31 2001
Technology Center 2600

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 4月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3028169

【書類名】 特許願

【整理番号】 00J03323

【提出日】 平成12年 8月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明の名称】 電子メール装置

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株式会社内

【氏名】 林 希代子

【特許出願人】

【識別番号】 000005049

【氏名又は名称】 シャープ株式会社

【代表者】 町田 勝彦

【代理人】

【識別番号】 100079843

【弁理士】

【氏名又は名称】 高野 明近

【選任した代理人】

【識別番号】 100112324

【弁理士】

【氏名又は名称】 安田 啓之

【選任した代理人】

【識別番号】 100112313

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩野 進

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014465

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9905112

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子メール装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子メールを送受信する通信ユニットと、電子メール本文と人物設定情報などのデータを保存するためのメモリと、文字入力を行うための入力部と、文字や画像等を表示するための表示部と、音声合成制御を行うための音声合成制御部と、スピーカとを有し、音声再生機能を備えた電子メール装置において、音声再生に際して、メール送信時にメール本文中にテキスト文字列で挿入された人物設定情報を認識した段階で、該人物設定情報を参照し、指定された人物設定で音声合成制御部で音声合成して音声再生を行うことを特徴とする電子メール装置。

【請求項 2】 請求項 1 記載の電子メール装置において、前記人物設定情報は、声の高さ、声の太さ、声の速さなどの声質情報が含まれた人物詳細設定情報であることを特徴とする電子メール装置。

【請求項 3】 請求項 2 記載の電子メール装置において、前記人物詳細設定情報を、電子メール本文とは別に格納する人物詳細設定格納部を設け、音声再生に際して、メール送信時にメール本文中にテキスト文字列で挿入された人物設定情報を認識した段階で、前記人物詳細設定格納部より人物詳細設定情報を読み出し、その人物詳細設定情報を基に音声再生を行うことを特徴とする電子メール装置。

【請求項 4】 請求項 2 または 3 記載の電子メール装置において、前記人物設定情報および人物詳細設定情報を、所定のフォーマットで、電子メール本文の最後、または最初に付加した電子メールを送受信することを特徴とする電子メール装置。

【請求項 5】 請求項 4 の電子メール読み上げ装置において、前記所定のフォーマットで付加された人物詳細設定情報を受信した場合、該人物詳細設定情報を、電子メール本文から切り離し、前記人物詳細設定格納部に格納し、電子メール本文中に人物設定情報があると、前記人物設定格納部より読み出した人物詳細設定情報を基に音声再生を行うことを特徴とする電子メール装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、テキストデータを音声合成再生する機能を有し、メールや通信などで、外部からのテキストデータの送受信を行う電子機器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

特開平4-175049号公報には、電子メール本文読み上げ機能として、メール本文内に、所定の文字列で読み上げ音声の詳細設定を（男性／女性、速度など）を挿入し、指定された設定で読み上げを行うことにより、送信者の読み上げ設定を効果的に反映した音声再生を行うものが記載されている。

しかし、この技術では、各読み上げ設定が、それぞれメール本文内に表示されるものであったため、ユーザがメールのある部分を、ある人物の声で読み上げを行う設定を指定する際、メール本文内の音声指定する部分に、指定の人物設定の読み上げ詳細設定情報をすべて、所定のフォーマットでメール本文内に挿入しなければならなかった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

上記したように、従来、ある人物の声で読み上げを行う設定を指定する際、指定の人物設定の読み上げ詳細設定情報をすべて、メール本文内に挿入しなければならなかったため、メール本文内に余分な音声情報がたくさん含まれ、見辛く、また、同じ人物設定を複数回使用する際には、メール本文の容量も増えてしまうことが問題であった。

本発明は、電子メール送受信可能な電子機器において、人物詳細設定情報をメール本文とは別のワークエリアに格納、保存し、メール送受信時に人物詳細情報を付加することにより、メール本文内に含まれる読み上げ人物設定情報を極力少なくし、また、メール送信者が指定した人物設定での読み上げを行い、目で見える文章では伝えにくかった感情、楽しさ、変化などを、受信者に正確に伝えることを目的とする。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、電子メール装置であって、電子メールを送受信する通信ユニットと、電子メール本文と人物設定情報などのデータを保存するためのメモリと、文字入力を行うための入力部と、文字や画像等を表示するための表示部と、音声合成制御を行うための音声合成制御部と、スピーカとを有し、音声再生機能を備えた電子メール装置において、音声再生に際して、メール送信時にメール本文中にテキスト文字列で挿入された人物設定情報を認識した段階で、該人物設定情報を参照し、指定された人物設定で音声合成制御部で音声合成して音声再生を行うようにしたものである。

【 0 0 0 5 】

さらに、本発明は、前記電子メール装置において、前記人物設定情報は、声の高さ、声の太さ、声の速さなどの声質情報を含んだ人物詳細設定情報としたものである。

【 0 0 0 6 】

さらに、本発明は、前記電子メール装置において、前記人物詳細設定情報を、電子メール本文とは別に格納する人物詳細設定格納部を設け、音声再生に際して、メール送信時にメール本文中にテキスト文字列で挿入された人物設定情報を認識した段階で、前記人物詳細設定格納部より人物詳細設定情報を読み出し、その人物詳細設定情報を基に音声再生を行うようにしたものである。

【 0 0 0 7 】

さらに、本発明は、前記電子メール装置において、前記人物設定情報および人物詳細設定情報を、所定のフォーマットで、電子メール本文の最後または最初に付加した電子メールを送受信するようにしたものである。

【 0 0 0 8 】

さらに、本発明は、前記電子メール装置において、前記所定のフォーマットで付加された人物詳細設定情報を受信した場合、該人物詳細設定情報を、電子メール本文から切り離し、前記人物詳細設定格納部に格納し、電子メール本文中に人物設定情報があると、前記人物設定格納部より読み出した人物詳細設定情報を基

に音声再生を行うようにしたものである。

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施形態を、図面に基づいて、以下に説明する。

図 1 は、本発明の電子メール装置を適用した電子機器の一実施例の平面図である。

機器本体 1 には、メッセージや画像等の表示を行う表示部 2、各種操作を行うためのキー群からなる入力部 6 が設けられている。

入力部 6 を構成するキー群は、電源を ON / OFF する電源キー 6 1 と、メールアプリケーションキー 6 2、メニューキー 6 3、音声再生スタート / ストップキー 6 4、OK キー 6 5、キャンセルキー 6 6、入力キー 6 7 などから構成される。

【 0 0 1 0 】

メールアプリケーションキー 6 2 は、メールアプリケーションを起動するためのキーであり、メニューキー 6 3 は、各画面で、メニュー(機能リスト)を表示 / 非表示するためのキーである。

また、OK キー 6 5 とキャンセルキー 6 6 は、データの入力時の登録、キャンセルや、アラート表示などで実行、確認、又はキャンセルを行うためのものである。

また、この電子機器 1 への文字入力、キーボードや、タッチパネル等から成る入力キー 6 7 により行われ、電子機器内部には、中央演算処理装置やメモリ (ROM, RAM) が備えられている。

ここでは、例として、図 1 に示すように、キーボードによる文字入力について説明する。

【 0 0 1 1 】

図 2 は、本発明の電子メール装置を適用した電子機器のハードウェア構成を示すブロック図である。

なお、図 1 に示した構成要素と共通するものは、同じ符号を付している。

この図において、CPU 4 は、電子機器全体の入出力等の動作演算処理を実行

するものであり、音声合成制御部 4 1、制御部 4 2、演算部 4 3、及びデータ比較部 4 4 からなる。

【 0 0 1 2 】

音声合成制御部 4 1 は、音声合成再生を制御し、図 1 に示す音声再生スタート／ストップキー 6 4 が押下されると、再生された音声は、スピーカ 1 2 を介して外部へ出力される。

表示部 2 は、例えば、ドットマトリクス構成の液晶表示装置(LCD)であって、CPU 4 からの制御信号に基づいて、表示制御部 3 (LCD ドライバー)内の表示バッファ 3 1 に、表示を書き込むことによって、演算結果、メッセージ等の表示を行う。

また、入力部 6 からのキー入力は、入出力ポート 5 を介して CPU 4 に送られ、どのキーが入力されたか判断される。

通信ユニット 7 は、外部と電話線や無線を使用してデータを送受信するものである。

【 0 0 1 3 】

ROM 8 は、電子機器本体 1 の種々の機能と、本発明の電子メール読み上げ機能を実現するためのプログラムを記憶したプログラム部 8 2 と、文字を表示する時に用いる文字フォントを記憶している CG データ部 8 1 を有している。

CPU 4 のデータ比較部 4 4 は、ROM 8 内のデータ比較を行う。

RAM 9 は、電子機器本体 1 に登録された音声合成に関する人物設定情報を格納している人物設定情報部 9 1、バッファ部 9 2、メールデータ部 9 3、人物詳細設定格納ワーク部 9 4 などを備え、各種データを格納している。

また、電池 1 1 は、機器の電源である。

RAM 9 は、電池 1 1 によってバックアップされており、人物設定情報部 9 1 やメールデータ部 9 3、人物詳細設定格納ワーク部 9 4 に格納された人物設定詳細データなどの情報は、電源 OFF 時にも内容が消えることはない。

【 0 0 1 4 】

次に、本発明の電子メール装置のメール読み上げ時の処理手順を詳細に説明する。

図 3 は、本発明に係る電子メール装置による読み上げ電子メール作成の処理手順を示すフローチャート図である。

【 0 0 1 5 】

まず、図 1 の入力装置 6 のメールアプリケーションキー 6 2 を押下し、メールアプリケーションを起動させ（ステップ S 3 1）、メール作成画面を表示させる（ステップ S 3 2）。

図 4 は、本発明による電子メール装置のメール作成画面の一例を示す図である。

次に、キー待ち状態で、文字入力されたかどうかを判断（ステップ S 3 3）し、文字入力された場合は、入力された文字を、図 4 の本文入力エディタ 2 1 に表示する（ステップ S 3 7）。

また、キー待ち状態で、文字入力ではなく、メニュー（人物設定選択リスト）表示のためのメニューキー 6 3 が押された場合（ステップ S 3 4）、メニュー（人物設定選択リスト）が表示される（ステップ S 3 5）。

【 0 0 1 6 】

図 5 は、本発明による電子メール装置の人物設定選択リストメニュー画面の例を示す図である。

人物設定選択リストから指定する人物の選択を、キー群 6 により行い（ステップ S 3 6）、入力された人物設定情報を、所定のテキスト文字列（または、絵記号、アイコンなどでも良い）で、図 4 に示す画面の本文入力エディタ 2 1 に表示する（ステップ S 3 7）。

【 0 0 1 7 】

図 6 は、図 4 の画面に、人物設定情報をテキスト文字列でメール本文中に挿入した画面表示例である。

ここでは、例として、人物設定情報を [] でくくったテキスト文字列として表示している。

人物設定情報をテキスト文字として挿入することにより、インターネットなどで外部へ送出し、音声合成再生機能を持たない他の電子機器などで受信された場合であっても、受信した他の電子機器に問題を起こす心配がなく、また、送信者

が設定した音声情報をテキスト文として、画面上に見ることができるため、実際音声再生することはできなくても、音声の変化を想像することができる。

【 0 0 1 8 】

次に、メール本文内に、読み上げ人物設定情報を挿入時、設定した人物についての各設定要素である「声の高さ」、「太さ」、「速さ」などの音質に関する詳細設定情報を、人物詳細設定格納ワーク部に格納する方法を説明する。

図 7 は、本発明の電子メール装置における人物詳細設定情報を、人物詳細設定格納ワーク部に格納する処理手順を示すフローチャート図である。

【 0 0 1 9 】

まず、人物設定選択リストから指定する人物の選択を、キー群 6 により行う（ステップ S 7 1、図 3 におけるステップ S 3 6）。

選択された人物の詳細設定を、RAM 9 内の人物設定情報部 9 1（図 2 参照）から読み出し（ステップ S 7 2）、RAM 9 内の人物詳細設定格納ワーク部 9 4 に、それぞれの指定した人物の詳細情報である各設定要素を格納する（ステップ S 7 3）。

【 0 0 2 0 】

図 8 は、本発明による電子メール装置の人物設定情報部の内容の一例を示す図である。

図に示されるような、RAM 9 内の人物設定情報部 9 1 に格納された人物設定情報から、指定された人物設定の各設定要素である「声の高さ」、「太さ」、「速さ」などの詳細設定情報を読み出し、人物詳細設定格納ワーク部 9 4 にそれぞれの各設定要素を格納する。

【 0 0 2 1 】

図 9 は、本発明による電子メール装置の図 7 のステップ S 7 3 の処理実行時の、メール本文、及び人物詳細設定格納ワーク部に格納された内容の一例を示す図である。

図 9 で示されるように、メール本文内に挿入された人物設定情報は、所定の文字列の例として、[女性声]、[ロボット声]、[宇宙人声]のように、指定した位置に挿入される。

【 0 0 2 2 】

このようにして作成されたメール本文を読み上げ再生実行するときは、メール本文中から、人物設定情報を識別し、人物設定の人物詳細設定格納ワーク部から、各設定要素である「声の高さ」、「太さ」、「速さ」などの詳細設定情報を読み出し、各詳細設定で読み上げ再生を行う。

【 0 0 2 3 】

図 1 0 は、本発明に係る電子メール装置による電子メールの読み上げ再生処理手順を示すフローチャート図である。

まず、音声合成再生を行うメール本文を選択し（ステップ S 1 0 1）、図 1 の音声合成再生スタートキー 6 4 が押下されると（ステップ S 1 0 2）、メールテキスト文から、人物設定情報を識別し（ステップ S 1 0 3）、人物設定情報がない部分は、そのままテキスト文字の音声再生を実行し（ステップ S 1 0 6）、人物設定情報のある部分は、指定された人物の詳細設定情報を、RAM 9 内の人物詳細設定格納ワーク部 9 4 から読み出し（ステップ S 1 0 4）、人物設定の各設定要素である声の高さ、太さ、速さなどの詳細設定を、音声再生を実行する音声合成制御部 4 1（図 2 参照）へコマンドを送信し（ステップ S 1 0 5）、音声変更後、スピーカー 1 2 を介して音声再生を行う（ステップ S 1 0 6）。

【 0 0 2 4 】

また、作成されたメール本文を、送信するときは、メール本文の最後（または最初）に、人物詳細設定格納ワーク部 9 4 に格納された人物詳細設定情報を、所定のフォーマットのテキスト文字列（絵記号など）として、自動的に付加して送信する。

【 0 0 2 5 】

図 1 1 は、本発明に係る電子メール装置によるメール送信時の、メールテキスト本文、人物詳細設定格納ワーク部、メール本文送信データの内容例を示す図である。

ここでは、例として、送信メールの最後に、それぞれ、人物詳細設定の各要素（「声の高さ」、「太さ」、「速さ」など）を、[] で括られたフォーマット、人物名を、[# 人物名] のフォーマットで付加するものとする。

そして、上記のように作成され、送信されたメール本文を、受信すると、メール本文の最後（または、最初）に、所定のフォーマットで付加された人物詳細設定情報を、メール本文から切り離して、人物詳細設定格納ワークに格納する。

【 0 0 2 6 】

図 1 2 は、本発明に係る電子メール装置によるメール受信時のメール本文受信データ、メールテキスト本文、人物詳細設定格納ワーク部の内容例を示す図である。

ここでは、上記と同様、受信メールの最後に、人物詳細設定の各要素（「声の高さ」、「太さ」、「速さ」など）を、[] で括られたフォーマット、人物名を [# 人物名] のフォーマットで付加されているものとする。

受信メール本文最後に付加されていた人物詳細設定は、メール本文から切り離され、登録されるため、アプリケーションでの受信メール表示時には、付加されていた人物詳細設定は表示されない。

よって、メール本文表示時には、余分な読み上げ設定が表示されないため、読み易くなる。

【 0 0 2 7 】

【発明の効果】

送信者が、音声合成コード情報を組み合わせた読み上げ人物設定を、メール本文内のそれぞれの文章、言葉に設定することにより、目で見える文章では伝えにくかった感情、楽しさ、変化などを、受信者に伝えることができる。

一方、受信者は、設定された読み上げ人物設定で、メール本文の読み上げを行うことにより、送信者の感情を、よりリアルに耳で聞くことが可能となる。

また、これらの人物設定を、メール本文内には、どの人物の設定が、どの位置に挿入されているかを示す人物設定情報のみを挿入し、設定した人物についての各設定要素である「声の高さ」、「太さ」、「速さ」などの詳細設定情報を、メール本文とは切り離して、人物詳細設定格納ワーク部に格納し、読み上げ実行時には、この人物詳細設定格納ワーク部に格納されている詳細設定を参照し、設定された人物の音声で読み上げを行うことにより、メール本文内に挿入される音声設定情報が極力少なくなり、メール本文を読み易くすることが可能となる。

【 0 0 2 8 】

また、上記方法で作成したメールを送受信する際には、送信メール本文の最後（または最初）に、人物詳細設定を、所定のフォーマットで付加して送信し、このメールを受信時に、付加された人物詳細設定部分を、メール本文から切り離して、人物詳細設定格納ワーク部に格納し、メール読み上げ時には、格納された人物詳細設定を、基に、読み上げを行うことにより、指定した読み上げ人物の詳細設定の送受信を行うことができるため、送信者の指定した人物設定で、受信者は正確に読み上げ再生を行うことが可能である。

また、送受信時に、自動的に人物詳細設定の付加、切り離しを行うため、ユーザは人物詳細設定を意識することなく、簡単にメール送受信を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の電子メール装置を適用した電子機器の一実施例の平面図である。

【図 2】

本発明の電子メール装置を適用した電子機器のハードウェア構成を示すブロック図である。

【図 3】

本発明に係る電子メール装置による読み上げ電子メール作成の処理手順を示すフローチャート図である。

【図 4】

本発明による電子メール装置のメール作成画面の一例を示す図である。

【図 5】

本発明による電子メール装置のメニュー（人物設定選択リスト）画面の例を示す図である。

【図 6】

図 4 の画面に、人物設定情報をテキスト文字列でメール本文中に挿入した画面表示例である。

【図 7】

本発明の電子メール装置における人物詳細設定情報を、人物詳細設定格納ワーク部に格納する処理手順を示すフローチャート図である。

【図 8】

本発明による電子メール装置の人物設定情報部の内容の一例を示す図である。

【図 9】

本発明による電子メール装置の図 7 のステップ S 7 3 の処理実行時の、メール本文、及び人物詳細設定格納ワーク部に格納されたの内容の一例を示す図である。

【図 1 0】

本発明に係る電子メール装置による電子メールの読み上げ再生処理手順を示すフローチャート図である。

【図 1 1】

本発明に係る電子メール装置によるメール送信時の、メールテキスト本文、人物詳細設定格納ワーク部、メール本文送信データの内容例を示す図である。

【図 1 2】

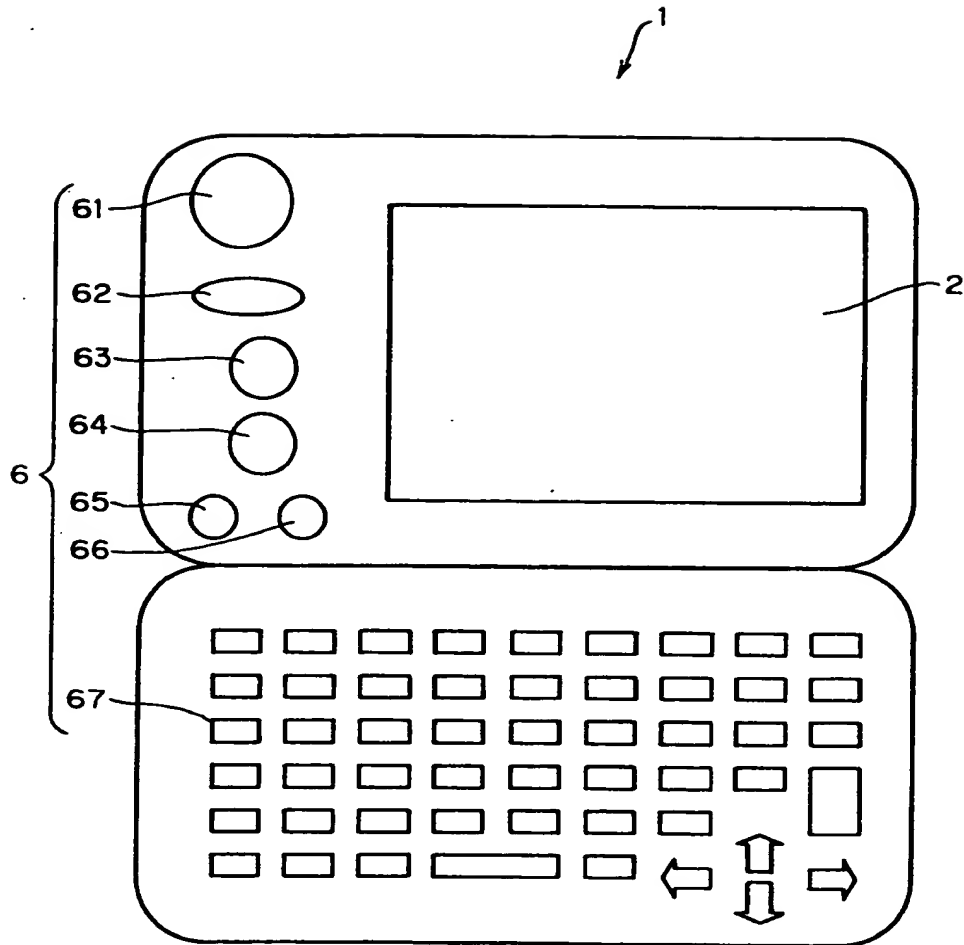
本発明に係る電子メール装置によるメール受信時のメール本文受信データ、メールテキスト本文、人物詳細設定格納ワーク部の内容例を示す図である。

【符号の説明】

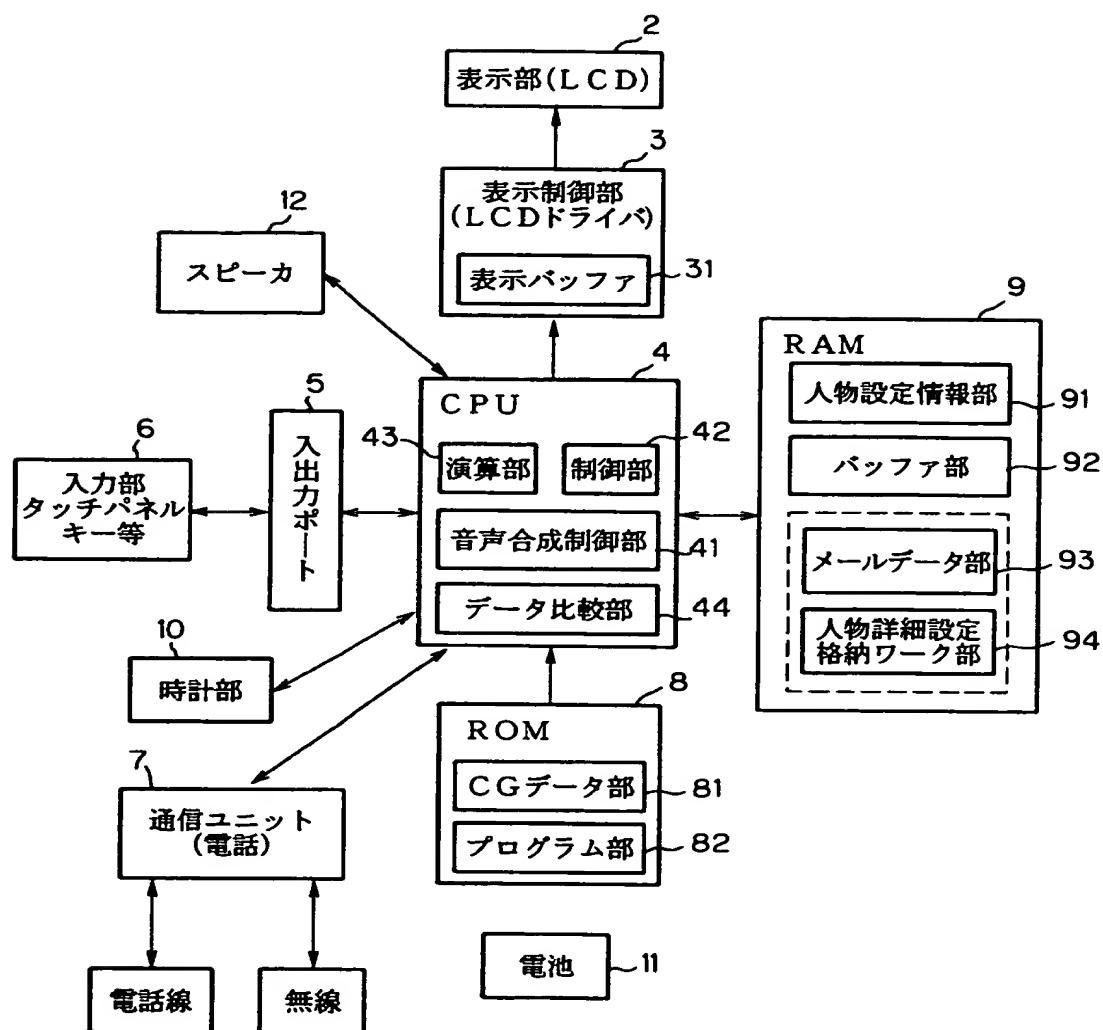
1…電子機器本体、2…表示部（LCD）、3…表示制御部（LCDドライバ）、3 1…表示バッファ、4…CPU、4 1…音声合成制御部、4 2…制御部、4 3…演算部、4 4…データ比較部、5…入出力ポート、6…入力部（キー群）、6 1…電源キー、6 2…メールアプリケーションキー、6 3…メニューキー、6 4…音声再生スタート／ストップキー、6 5…OKキー、6 6…キャンセルキー、6 7…入力キー、7…通信ユニット、8…ROM、8 1…CGデータ部、8 2…プログラム部、9…RAM、9 1…人物設定情報部、9 2…バッファ部、9 3…メールデータ部、9 4…人物詳細設定格納ワーク部、1 0…時計部、1 1…電池、1 2…スピーカ。

【書類名】 図面

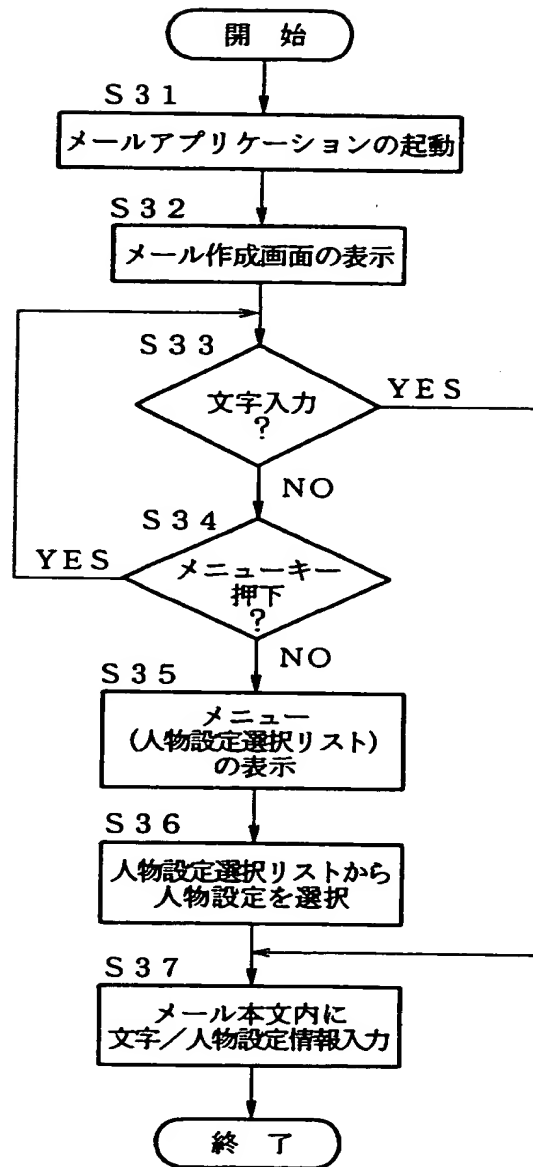
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図4】

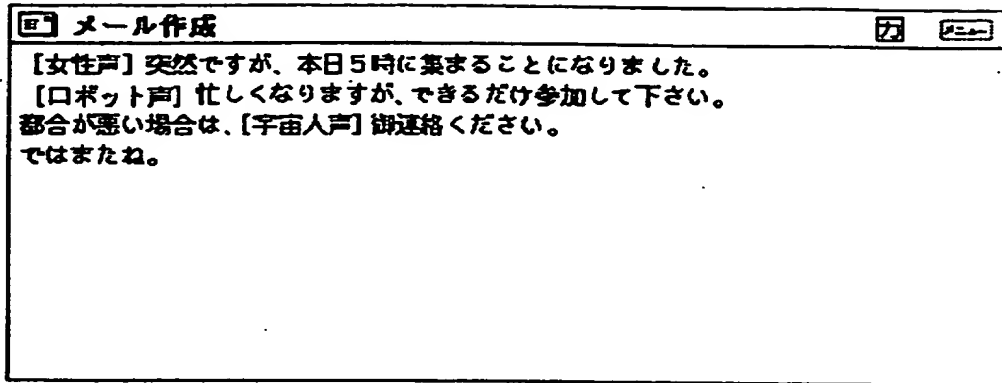
<div> <div>メール作成</div> <div> 突然ですが、本日5時に集まることになりました。 忙しくなりますが、できるだけ参加して下さい。◀ </div> </div>

21

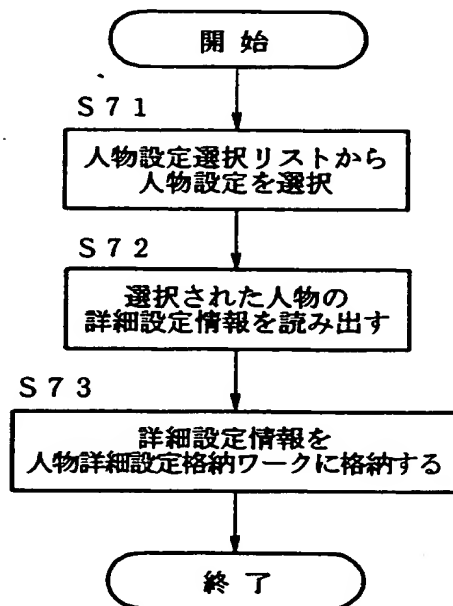
【図5】

<div> <div>メール作成</div> <div> 突然ですが、本日5時に 忙しくなりますが、で </div> </div>	<div> <div>メニュー</div> <div> 1 女性の声 2 ロボット 3 宇宙人 4 おばあさん 5 おじいさん 6 赤ちゃん </div> </div>	<div> <div> </div> </div>
--	---	---------------------------

【図6】



【図7】



【図 8】

<人物設定情報>

女性声	女声、高さ 1、太さ 3、速さ 2、...
おばあさん声	女声、高さ 0、太さ 1、速さ 1、...
おじいさん声	男声、高さ 0、太さ 0、速さ 2、...
赤ちゃん声	女声、高さ 4、太さ 3、速さ 1、...
ロボット声	男声、高さ 3、太さ 2、速さ 1、...
宇宙人声	女声、高さ 5、太さ 1、速さ 3、...
...	...

【図 9】

<メール本文>

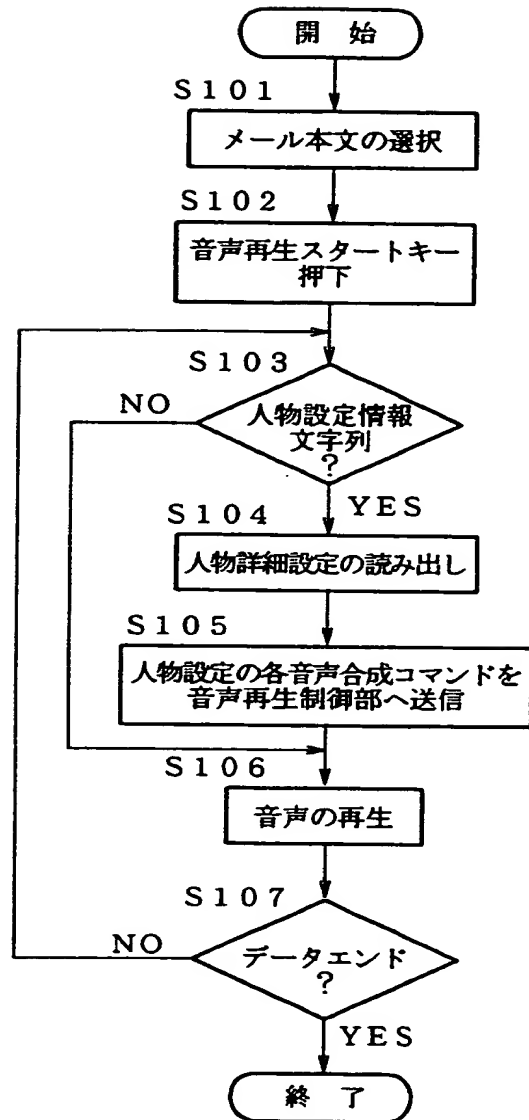
[女性声] 突然ですが、本日 5 時に集まることになりました。
 [ロボット声] 忙しくなりますが、できるだけ参加してください。
 都合が悪い場合は、[宇宙人声] ご連絡ください。
 ではまたね。

人物設定情報：[女性声]、[ロボット声]、[宇宙人声]

<人物詳細設定格納ワーク>

女性声	女声、高さ 1、太さ 3、速さ 2、...
ロボット声	男声、高さ 3、太さ 2、速さ 1、...
宇宙人声	女声、高さ 5、太さ 1、速さ 3、...

【図10】



【図 1 1】

<メールテキスト本文>

[女性声] 突然ですが、本日 5 時に集まることになりました。
 [ロボット声] 忙しくなりますが、できるだけ参加してください。
 都合が悪い場合は、[宇宙人声] ご連絡ください。
 ではまたね。

人物設定情報：[女性声]、[ロボット声]、[宇宙人声]

<人物詳細設定格納ワーク>

女性声	女声、高さ 1、太さ 3、速さ 2、...
ロボット声	男声、高さ 3、太さ 2、速さ 1、...
宇宙人声	女声、高さ 5、太さ 1、速さ 3、...

メール送信実行



<メール本文 送信データ>

[女性声] 突然ですが、本日 5 時に集まることになりました。
 [ロボット声] 忙しくなりますが、できるだけ参加してください。
 都合が悪い場合は、[宇宙人声] ご連絡ください。
 ではまたね。

[#女性声][女性][高さ 1][太さ 3][速さ 2]
 [#ロボット声][男性][高さ 3][太さ 2][速さ 1]
 [#宇宙人声][女性][高さ 5][太さ 1][速さ 3]

【図 1 2】

<メール本文 受信データ>

〔女性声〕突然ですが、本日 5 時に集まることになりました。
 〔ロボット声〕忙しくなりますが、できるだけ参加してください。
 都合が悪い場合は、〔宇宙人声〕ご連絡ください。
 ではまたね。

〔#女性声〕〔女性〕〔高さ 1〕〔太さ 3〕〔速さ 2〕
 〔#ロボット声〕〔男性〕〔高さ 3〕〔太さ 2〕〔速さ 1〕
 〔#宇宙人声〕〔女性〕〔高さ 5〕〔太さ 1〕〔速さ 3〕

受信メール登録

<メールテキスト本文>

〔女性声〕突然ですが、本日 5 時に集まることになりました。
 〔ロボット声〕忙しくなりますが、できるだけ参加してください。
 都合が悪い場合は、〔宇宙人声〕ご連絡ください。
 ではまたね。

人物設定情報：〔女性声〕、〔ロボット声〕、〔宇宙人声〕

<人物詳細設定格納ワーク>

女性声	女声、高さ 1、太さ 3、速さ 2、…
ロボット声	男声、高さ 3、太さ 2、速さ 1、…
宇宙人声	女声、高さ 5、太さ 1、速さ 3、…

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 メール本文内に含まれる読み上げ人物設定情報を極力少なくする。

【解決手段】 メニューキーを押し、指定する人物の選択を行い、入力された人物設定情報を、所定のテキスト文字列で、メール本文中に挿入する。同時に選択された人物の詳細設定を、人物設定情報部から読み出し、人物詳細設定格納ワーク部に、指定した人物の詳細情報である各設定要素を格納する。メールを送信すると、メール本文の最後に、人物詳細設定格納ワーク部に格納された人物詳細設定情報が、所定のフォーマットのテキスト文字列（絵記号など）として、自動的に付加される。受信すると、付加された人物詳細設定情報を、メール本文から切り離して、人物詳細設定格納ワーク部に格納する。再生するときは、メール本文中から、人物設定情報を識別し、人物設定の人物詳細設定格納ワーク部から、詳細設定情報を読み出し、各詳細設定で読み上げる。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005049]

1. 変更年月日 1990年 8月29日
[変更理由] 新規登録
住 所 大阪府大阪市阿倍野区长池町22番22号
氏 名 シャープ株式会社